

市政モニターアンケート
「今津地域市有地活用方針案に関するアンケート」集計結果

○アンケート期間：平成26年1月18日～平成26年2月7日

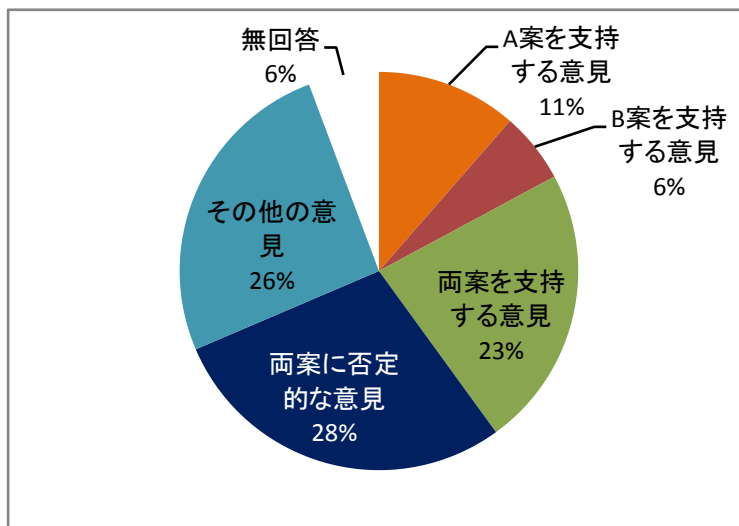
○アンケート回答者数：35人

～アンケート集計結果～

Q1 今津地域市有地の活用方針案については、整備費用や将来の維持管理費用を抑えることを主眼に置いて作成していますが、この方針案についてどのように感じられましたか。

■ 回答

A案を支持する意見	4
B案を支持する意見	2
両案を支持する意見	8
両案に否定的な意見	10
その他の意見	9
無回答	2



A案を支持する意見

とてもいい案だと思いました。

サッカー場の整備はしなくて良いと思います。その理由は、現市長が表明されているように6億円という費用がかかり、使途についても人口減の高島では、今後、若者に活用されないという目算が強いからです。現在、農業振興にも考えられているようですが、単なる市民専用の農地ではなく、京阪神の人々で希望される方々に貸し与え、収入を得る方法が良いと思います。原則的にこの方法は、高島市内の高齢者の方々に有料ボランティア(草むしりもかねて)として野菜作りをしていただき、借用者にバトンを渡すのが良いかと思います。(ただし、鳥獣被害も考慮すべきです。)とにかく、高島市は名所旧跡が多いので、京阪神の方々を視野に入れた行政が望ましいと考えます。

基本的には第1案(内容を変えてなら)に共感します。

ただ購入した土地を何とか利用しなければ、その為には規制内で最低限出来る事を、また市民の興味や、グラウンドを作ると言って購入したからそれも実行しなければ、と言うようにあまり深く考慮せず作成された内容かなーと感じられます。

もう少し将来を見据えた利用方法をお願いします。

私の考えを下記に記します。

使用方法

駄々広い駐車場は安くあげる為に考えられたと思いますし防災対策もあるでしょうが、今後駐車場を作るのであれば、運動公園全体を見据えこの機会に考えられるのが、いいのでは？

例えば駐車場を屋内にし、屋根に太陽光発電をつける。

分区分

あちこちで市民農園や、施設などで植物を介し健康や、繋がり、人間らしい生活を目指し活動が展開しています。また就労や地域の活性化、経済効果もあげているところもあります。

只の農園だけにするよりは“クラインガルデン”の様に建物付きにすると宿泊しながら農園作業が出来ます。(使用者に関する内容云々はありますが、)

又琵琶湖周辺の観光も兼ねて都会から来てもらえ今津の良さ、ひいては高島全体の良さを知ってもらえます。周辺施設の利用も上がるでしょう。

又既存の“陽だまり”の施設や、テニスコート等も園芸作業の合間に利用してもらえる事が増えるはず。 農作業しながら、合間に花見、ソバ打ち、水泳、登山、イベント参加、歴史探訪、雪の季節はスキーや、ザゼンソウ見学、農業講座に参加、雪まつりに参加と四季を通じてたっぷり楽しむ事が出来ます。 地域的には最高の場所だと思います。獣害や、夏の暑さなどはあまり気にならない位快適に過ごしてもらえるのでは？ また建物も地場産の間伐材を使い、2階屋ぐらいで、出来れば屋根にソーラーをつけるなど。考え方として メインは1)“分区園”2)その為の駐車場 3)多目的グラウンド(屋根をつける) 4)太陽光発電(出来る限り建物にソーラーシステムを取り付ける。) 私の加入する「園芸福祉普及協会」では“すべての市民の幸福の増進のために、農耕、園芸を積極的に生かしていこうとするもので普及活動をしています。 その活動の場所は正にこの分区園が適地だと思います。 何事もこれからの子孫の事を考え、早まらないでよく議論していい方向を見つけてほしいと思います。 又今まで守ってこられた地主さんの土地を有効利用してこそ浮かばれるのではないのでしょうか？
A案を支持します。 ・運動公園各施設の電力供給、緊急一時避難所としての電力供給として効果が期待できる(緊急時における広域避難所の電力供給の確保が容易となる。) ・分区園については、一般利用者への提供も必要(収益性を考えて)であるが、高齢者、障害者の福祉施設、青少年育成の面より農業体験のできる場の提供区画をぜひ計画いただきたい。市内各学校農園の区画整備(提供)等
B案を支持する意見 将来のことなので何がいいかはわかりませんが、借金が残らないようにすることを一番に考えていただきたいと思います。このまま保留するよりは何か行動にしたほうがいいと思うので、私はB案に賛成です。市民農園にしてしまうと、実際災害等が起こったときに直ちに他の目的として使うのは難しいと思います。防災広場の意味合いでは、グラウンドの方が向いていると思います。 良いことばかり考えると、グラウンドの利用が増える(若い人たちが他府県から来る)→将来定住する人が出るかもしれない。 太陽光発電に関してはトラブルのないようにお願いしたいのと、自然エネルギーというところでは、JRをとまらせて困らせる「強い風」を利用するのはどうかと以前から思っていました。ドイツのどこかの村のように「風力発電の町」と言えるぐらいのことが出来たら市のアピールにもなりそうな気がします。 すでに一反当たり400万円で購入されているこの土地について”元は取れない””経済効果も期待できない”と考えています。それでもあのような状態で遊ばしておくことは草刈等の費用がかかり、苦渋の決断であると思います。A案orB案 二者択一であるならば、B案をお願いします。獣害等いろんなことを考えると難しいと思います。
両案を支持する意見 悪くないと思います。複数の活用方策を取り込んでいるのもリスク分散の観点から良いと感じます。ただし、この活用にかかる方針「案」が、いつ誰により、どのようなプロセスを経て出てきたのか。「市役所内部の調査・検討により」とありますが、もっと詳しく情報を提供してもらいたいものです。利用者数見込み(H24)と実態のギャップにも驚かされます。誰がどうやって見込みを出しているのですか？ 芝サッカー場が出来ないのは残念に思いますが、維持管理費等を考えると、建設計画の凍結は妥当であると考えています。 今津地域市有地の活用方針案を拝見したところ、様々な角度から比較検討されていることがわかりました。 いらないものは作らないほうが良い。原発依存をなくす。だから太陽光が良い。 非常に良く検討されて良いと思います。 予測、見積もりが的確になされていて特に問題とするものはない。芝サッカー場建設または未活用地で放置しているより市民の納得、理解が得られると思う。完成まで及び完成後の市・県内外へのPRの実施により、高島市の名所になることを願う。 活用方針案については賛成です。

費用のことは大事だと思うので、よい感じではないかと思います。 市有地としてなんと無駄な土地だろうと思っていました。活用方針案を拝見して、金額的なものは妥当かはわかりませんが、整備費用、維持管理費用が十分に考えられていることを思うと、このような方針で進められたら良いのではないかと思います。与えられた土地の有効利用として私たち市民1人1人が理解していくことが大切です。全市民に根気強く周知してもらうことに努力してほしいです。
両案に否定的な意見
① 他の用途を求める意見
今津地域市有地の活用方針案について考える前に今回のサッカー場計画、用地買収がどのような過程を経て政策されたのか大きな疑問を持ちます。 1. 市長の発案で政策部が計画・提案 2. 市役所幹部で審議・決定 3. 市議会にて審議・決定 と正規の過程を踏んで決定されたと思います。 がしかし、市長選で市民はNOの判断をした、つまりこの計画を市民は必要と思わなかった、無駄な施設を作る計画だと判断した。 そこで、今回の決定に至ったプロセスに何か間違いがあったと思われるのも仕方ない。 私は2013年10月頃よりサッカー場建設計画について市役所に資料請求して計画を調査しました。そこで判明したのが調査のコンサルタント会社が提出した報告書を無視して「何が何でも建設やるき」で決めたこと。その1例が対費用効果を示すバランスシート(B/S)が現状利用状態、将来見込数などから1.52(B/S=1以上が建設判断基準)と判断しコート1面の建設を可と報告した。 しかし市役所政策部ではこの報告を無視して利用者見込み数を20,000人減少しているにも関わらず、コート2面の倍を建設決めた。2面のコートになればB/Sは1以上を算出できない、そこで問いただしたら「将来を見込んで又、多くの方が利用されるよう努力します、2面変更のB/S再計算は費用が高くつくから再調査はしません」と回答がありました。 明らかな誤りです。 7億円もの大きな事業を今回のような誤った方法で政策立案をしないように、市役所内で十分なチェック機能を確立してほしいと思います。 結果、不要用地が残残りその対策に職員の仕事が増え大きな人件費が費やされています。 この責任は誰が取るのでしょうか返事を頂きたい。 今回の提案について 正直に申し上げて太陽光発電施設の設置以外は評価ゼロ。 太陽光発電施設の設置は良いとしても「多目的グラウンド」「貸農園」案には賛成できません。 さまざまな制約がある中で多くの方が一生懸命考えられているのだと思うのですが、本当にこの2案しかないのだろうかと感じました。まず太陽光ですが、私も専門的なことはあまりわかりませんが、テレビなどで次々と設置された太陽光発電所の除草の問題が取り上げられているのを見て、維持管理などは思ったより大変なのではないかと考えます。 テレビでは、太陽光発電は足場(地面との設置面)が複雑で、草刈機の歯が当たって跳ね返り大変危険だと伝え、そのためには人ではなく、動物を使って除草をしているという特集がありました。また、その他の多目的グラウンドや貸農園についても本当にその場所にそれが必要なのかと疑問に思いました。なぜなら、どの案も今津グラウンド利用者の声やリサーチの結果がないからです。少なくとも市内の利用団体にアンケートをとるのはされたでしょうか？市外利用者が多いならばその方々の声も取り入れるべきではないでしょうか？求められているものはもっと多くの駐車場かもしれないし、本当にグラウンドが要求されているのかもしれない。なぜか過去の数字や予想に頼った計画であるように私は感じました。 ただ防災の視点はとてもよいと思いました。グラウンドなどは、避難の拠点になるでしょうし、もし、グラウンドなどにされるなら、かまどになるベンチやトイレになる側溝など防災の拠点として使える整備をお願いしたいです。
② 熟考すべし、または当面何もしないという意見
土地を先行して購入したものの計画がとん挫して明確な用途がなくなってしまったから「無理やり何かしらの使用目的を作ろうとしている感」がプンプン臭ってくる。「どうせ空いている土地なら何かしよう。」という覚悟も何もない中途半端なスタンスなら何もしない方が良い。中途半端なものしか完成せず、市民から税金の無駄遣いと罵声を浴びることになる公算が非常に高いと思う。「ぜひ、この土地を使って〇〇をしなければならぬ。」という強い意志をもって使用する目的が現れるまで現状維持で何もしないのが良策と考える。

サッカー場を作るといことで土地が売買され、本契約が平成24年9月に交わされて、4ヶ月後に凍結され、この農地を売られた方はどんな思いでおられるでしょうか？ サッカー場にされないのなら、今しばらくこのままでもよいのではないかと思います。
有効な活用方法が見つかるまで塩漬けにするといいと思います。
活用方策案の前に、どうしてこの市有地を購入したのか、お聞きしたいです。財政難の中正しかったのでしょうか？活用方針案はいろいろ検討されておられますが、どちらかに選択しろといわれたら少し難しかったです。 太陽光発電は今の時代には必要でしょうが、地域住民への配慮が必要ですね。 農園、多目的グラウンド、駐車場は必要ないと思います。特に駐車場は現在も不便だが、あるものを使えばいいと思います。 農園、多目的グラウンドを整備してまでも、市の活性化が大きいとは思えません。 財政難の中、今、この事業を進めないといけなのではないでしょうか？ 市全体の今、やらなければいけないことを優先してください。
③ その他方針案自体の否定
コストを抑えることは大切だと思うが、利用頻度、収益性の計算が楽観的過ぎると思う。結局中途半端な計画、想定以下の結果となり、すべてが無駄になっているように感じる。 初期費用がかかっても、持続的に収益が出る便利な利用を考えてほしい。
私ははっきり言ってよくわからない方針案であると思います。 確かにいろいろな案を考えておられますが、あまり私にはどうも魅力的には感じられませんし、関心がもてません。 本当にその地域の事の為に必要なのか？あるいは誰か一部の人の人にとってしかその恩恵が行かないのか？このアンケートをとったとしても多数の意見を優先視はしても、もっと抜本的な案は出てこないと思います。 今、この地域に何が必要なのかといったところを考えると、若者が働く場所があり、地域の復興であると思います。たくさんの人が集まってくる場所に自然と経済も復興し、人も集まってくるとは思いますが、そのことを前提とした話以前に、その土地を最大限活用することを考えても、適当な意見で終わってしまうと思います。 最近近くの空き地は太陽光発電がぎっしりと埋め尽くされている光景が良く見られます。私にはそれがとてもおかしく見えてなりません。 本当に土地を有効利用することとは何でしょうか？違う世代の人からアンケートを受けるならば、そのアイデアから集めたほうが良いかと思います。 モニターになりながらも忙しくて、集会に参加できないで申し訳ない限りですが、私にはもっと込み入った話をgive&takeする場が必要だと思います。
場当たりの方針案で納得できない。元の地権者は芝生のグラウンドを作るからと先祖代々の土地を手放したと聞いています。契約目的が違うと思います。
総合運動公園に隣接する土地であることを念頭に中・長期的な視点に立ち、地域経済への波及効果等も加味しながら策定した方が良く考えます。また元所有者のご意見は土地売買契約時の経過も考えて十分にお聞きするべきだと考えますし、反映できることは取り入れていく方が良く思う。 市長選挙時は幅広い市民の方々から意見を聞いてと、なっていたと思うので、もっともっと市民への情報を出していくべきだと思う！ なぜ急がれるのか。
その他の意見
① 具体的な提案
今回の対象物件は、前市長の時にサッカー場用地として市が取得したものの、サッカー場建設に反対表明して当選した現市長が見直しをする異例のものである。その中で提案された提示案は、十分な検討が尽くされたとは思えない。しかし、過去の経緯があったにせよ、一旦取得した以上は、何らかの有効活用をしなければ、市民の負担が増えてくる。但し、行政に経済的なノウハウがあるとは思えない。 したがって、基本的要件(農地法に準拠すること、経済効果があること(具体的にいえば市の2つの提案よりもマシであること)、雇用創出効果があること等)を示した上で、民間企業やNPO法人に提案コンペをさせて、それを有識者からなる審査委員会で審査し、市長に諮問する形をとると良いと考える。 私見としては、農業関連施設が良いと考えるので、例えば、「伊賀の里モクモクファーム」のような事業を展開できれば、地域活性効果や雇用創出効果が大きいと考える。

1、活用方針案の主眼とされる「整備費用」や「将来の維持管理費を抑える」については、ごく当然のことであり、現時点ではその前に検討されるべき課題があります。

2、まず、市有地活用する年度はすでに確定(決定)しているのですか。どのように活用するか、その計画案が定まらない年度に、計画案が議会決議されるのは、順序が逆ではありませんか。

3、第1に、箱物建設は止めましょう。財政困難な当市において、建設費ならびに維持費が必要とされる公共施設の新築新設は控えるべきです。

4、個人的に跡地利用を考えています。新設費用は微弱で済み、完成年度は未定です。歳月と共にますます豊穡となるプランです。10年度、20年度「合併記念大会」がこの地で開催されれば「市民はひとつ」の絆が生まれましょう。

5、現在の「総合運動公園」と一体化すると共に、市民がアイデアを出して、新しい都市公園を作庭しましょう。合併10周年に当たる次年度に、「合併記念公園、絆の杜(仮)」「市民アイデア募集」と広報すれば注目を浴びるでしょう。ましていく付きの「サッカー場建設中止の跡地」です。合併6町に敷地を配分して、各町がそれぞれアイデア溢れる公園を提案してもらいましょう。たった一つの条件は「ジョウギング・ウォーキング」が周遊できるコースがメインで、そのコース周りは6町を象徴する花が咲く木(樹)が植樹されること。四季それぞれに咲く花と緑陰が走行する市民を癒してくれましょう。

2、3年の時間をかけて、市民の意見も取り入れ、将来(20から30年先まで)を見通し、必要性があり、実行可能性(市の予算内で建設、将来の維持管理が容易であること)を考察して方針案を策定すべきと考えます。

この際、市の将来の労働人口の推移、高齢者の推移、財政状況の推移、建設予定施設の需要(使用)の推移などを見積もった資料を基に算定した案でなければならないと思います。

・方針案について

市が提示されたA案(貸農園)、B案(多目的グラウンド)にC案(特別養護老人施設)を追加されたい。C案の検討をお願いしたい。

活用方針案のA案、B案ともに凍結し、もっと時間をかけてでも、広く有識者、経営コンサルタントを含む多くの市民の総意を聞いて妙案を立案してほしい。

私としては、サッカー場建設の再考を含めて別案(C案とD案)を提案したい。

A案、B案とも、市の担当部門が市長選挙時の公約を踏まえての短略的な、かつ安直で拙速に立案した計画案にしか見えません。

市民農園、太陽光発電設備の建設や駐車場、多目的グラウンドの増設は、何も市、行政が深く取り上げる案件ではなく、農協や民間にゆだねるか、他の市有地でも代替でき、この地に設置を急ぐ案件ではないと思います。

この地は市にとってもっと重要な課題に活用すべきではありませんか？高島市は少子高齢化、人口減少防止、市活性化対策など重要な課題が山積しています。このまま何も対策を打たなければ、近い将来超高齢化社会、限界集落化、財政的危機が来るのは自明の理です。市にとって、この対応が危急の課題ではないでしょうか？

サッカー場は、単に建設し、維持するだけであれば、一部に無駄といわれるのも一理あるかもしれませんが、高島市を将来、サッカー王国、スポーツ著名地域にするという大きな目標を掲げ、立派なサッカー場を建設し、大いに活用し、今津総合運動公園をその基地にしてはどうでしょう。

それには市をあげて県とともに高島高校、安曇川高校をサッカー著名校に育成、安曇川、マキノ、今津中学校他市立の中学校を滋賀県でスポーツの盛んな学校群に育て、少年たちに学業とともにスポーツで夢を与えるのも行政にとっても重要な役割だと思います。今折しも本田選手の話やこれから続くワールドカップに合わせてサッカー人気も盛り上がるでしょうし、オリンピックもあります。湖東地区の野洲、草津、水口地区に負けない西のサッカー王国を作り、県の少年たちが高島市の立派なサッカー場で活躍を夢見るのも素晴らしいことではないですか。立派な野球場と合わせて、今津総合運動公園を滋賀県のスポーツの聖地として、スポーツに、また、野外音楽やイベント開催の会場として有意義に活用すれば、利用者減少への歯止めになります。

行政が先頭に立ち、立派な有意義な計画立案と明快な利用方法を市民に広報すれば、一部にある反対も減り、賛同者も増えると思います。

ぜひサッカー場建設案の復活、再考の検討をお願いします。

また、別案として私はこの地を企業誘致や私学誘致先あるいは高島市地場産品の野菜や果樹の集散基地として利用の検討を提案します。

高島市には、若者に雇用を提供する企業が本当に少なく、人口減少対策がなかなか見当たりにません。

この危機を打開する行政の抜本的対策が求められます。

A案、B案のような小さな計画案でなく、行政でなければならないような広大で将来を展望した計画が必須です。

せっきくの課題のこの地を行政の力で企業や私学に提供し、活用してもらい、市の活性化を狙うのも一案ではないでしょうか？

② その他

良く考えられた活用方針案を出していただいて有り難うございます。

本来ならそのご努力に対して、もろ手を挙げて賛成したいところではあります。しかし、市民目線で見れば、芝サッカー場は到底、先行取得してまで土地を確保する必要のないものでした。それなのに、ほとんどの市民が知らないうちに当時の市議会が承認し、土地を買い、無駄な税金の使い方をしてしまったことについて、市議会として、また行政内部においても何の反省もないまま今日に至っている経緯があります。

サッカー場や新庁舎建設の凍結を公約に掲げ当選された福井市長の新体制の下、この問題に早く決着をつけたいとの思いは理解に難くありません。市庁舎問題と同時並行で、よくぞここまで案を練り上げられたと、庁内プロジェクトの皆さまに頭が下がります。並々ならぬ強い意気込みを感じ市民として大変嬉しく有難く思います。しかし、市有地活用について、これ程急ぐ必要があるのでしょうか。芝サッカー場の計画も急ぎ過ぎていたのではありませんでしたか。

私は、この太陽光発電の入ったAB案をたたき台として支持します。同時に芝サッカー場を作らないことを明確にし、もう少しじっくりと取り組まれることを望みます。行政としては少しでも早く負の遺産を解消すべく活用を！との思いでありまいしょうが、スケジュールを見ると、市長の任期中になんとか実績をと慌てておられるようにも取れますので。

市民の財産である市有地（特にこの税金の無駄使いの土地）をどう使うかの議論が、もっと市民に広がることを望みます。なぜなら、提示された活用方針案が素晴らしいだけに、簡単に決まってしまうと結局 市民も市議会も行政内部においても、痛みも反省もなく終わってしまうことになるからです。

市有地の活用ということですが、今までの経過があり検討すべき事項も多いと思います。

当初は、サッカー場の建設目的で用地が買収され、それに向かって進んでいたかと思えます。しかしながら、昨年の市長選挙でサッカー場建設の凍結を公約に掲げた現市長が当選され、事実上サッカー場の建設はなくなりました。他地域から多くの集客を見越し、経済効果を高め、地域の活性化のためにと土地の売却に応じられた地主さんもいらっしゃると思えます。サッカー場ができるのなら売却するといった地主さんの思いを察すると、市から持ちかけられた（？）のに話しが違うのではないのでしょうか？ 市長が代わり、方針も変わりで周囲の人も困惑されていると思えます。今となると天然芝のサッカー場は魅力だと思いますが、民意がサッカー場はNOである以上建設はできません。そうすると元に戻せる事ができるならそれが一番よいのではないかと思います。しかし、そんな簡単なものではないかと思えます。

今回の説明会での議論を伺っていると、A案とB案が示されましたがどちらの案も大手を振っての賛成とは言えないものだったと思えます。いずれにしても、市有地となった以上は何かをせねばという事かと思えますが、何か無理があるように感じます。

（問いかけに対する回答にならなくて申し訳ありません。）

整備費用や維持管理費用の抑制を主眼に置いているとの事ですが、何をするにしても費用はかかると思えます。何を目指して行き、何が必要なかだと思えます。必要なものは必要、かかる費用はかかる。その中で収支バランスをどのようにして保つのかだと思えます。必要なものは必ず支持されると思えます。

サッカー場や多目的グラウンドにしても、スポーツに気のない市民にとっては何の関心もないように思われますが、多額の経費がいるのですから、有効に使っていただきたいと思えます。

賛成です。私があまり今津に行く機会がないことも原因ではありますが、そんなに費用がかかる大規模なものが本当に必要なかと疑問に思いました。運動公園に不備があるならまだしも、そういうわけではなさそうですし。

太陽光発電施設の案は、A・B案ともに良いと思います。エネルギーを売買して市に還元できるのは良いと思います。 ただ、A・B案ともにないのが、施設(障害のある人などの)を付け足してはどうだろうか？反対するとかではなくて。自身も、現在一般就労(パート)でさせていただいていますが、それまでは家から施設に通ってお世話になりました。そこで感じたのは、もう満杯状態かなと思います。なかなか一般就労の難しい人も多いし、会社に勤めたけど戻ってくる人もいます。 そこで、農園や太陽エネルギーを共存しながら、何か施設ができたらと思います。今津総合運動公園の近くなら、自然も多いし、バスも通っているの。無理でしょうが。
意見なし 2名

Q2 個別の活用方策についてご意見をお聞かせください。

太陽光発電
① 肯定的な意見
とてもいいと思いました。駐車場の分まで広げられたらいいんじゃないかと思いました。
苦渋の決断。これしかないでしょう・・・駐車場以外すべて太陽光発電でも良いと思いますが・・・
マイクロ水力、風力なども試験的に設置してはどうでしょうか。
環境に悪影響を与えなければ、余剰電力を設け、売電収入もあるので良いかと思います。
エネルギーの地産地消の観点からも、また売電による収益も期待できるのであれば、最善の活用法です。景観の問題を指摘する意見もありましたが、この発電施設は平面で色彩的にも許容範囲内です。太陽光発電の面積をもっと増やし、後は駐車場だけでよいと思います。
本施設の建設に賛成します。 理由: 今後将来に向かって有望
全部を太陽光の施設にして市の電気が少しでもまかなわれたらいいと思う。
良いと思います。
総合運動公園の電力をまかなうのは良いと思います。 可能なら用地全面に設置を提案します。
是非ともお願いしたい施設です。
先にも書きましたが、考えとしては賛成ですが維持管理の問題点や予想されるアクシデントなどを先行地域に聞いて対策を十分にとっていただきたいです。
・運動公園内各施設の電力供給フルカバー ・緊急避難所の電力確保を最低限守ってほしい。
とても良いと思います。
今の時代にマッチしていると思います。いいと思います。
今考えられるのはこのシステムがベストですが、売電料金が値下がりすることも考えられることも配慮してほしい。
② 否定的な意見
自然エネルギーの活用は賛成ですが、場所的にどうかと思います。秋以降は高島特有の気候で時雨も多く、湖南地域と比べると日照時間も少ないと思います。様々な要因の検証は十分されているとは思いますが、あの場所で最大限の効果が発揮できるかどうか不明です。 また、運動公園と農地に隣接しての太陽光施設は確かに景観が損なわれると思います。
今の時代には適しているが、自然の景観を損ねるとの意見もあり難しいと思う。景観を損ねない施設にすれば、市政モデルとして観光の呼び水になるのでは。
耐用年数や経年劣化に伴う発電効率の低下が未知数であり、災害によるパネル損傷等も考慮すると当初の計画通り発電量を本当に獲得できるか甚だ疑問である。

太陽光発電施設にしても、次の分区園にしても、箱館山の麓で、雨や雪も多く市内でも日照時間が短く、鳥獣害の多いところで、湖畔周辺、駅周辺に比べていたって条件が悪い。設置するなら湖畔やもっと南部の空地に設置する方がよい。
豪雪地帯での太陽光発電設置に疑問を感じます。
今津総合運動公園の運営を見ると、昼間・夜間とも大きな電力を必要とする施設ではないと思われる中、投資額が2億6,300万強と大きな額となっており、必要性を感じない。発電パネルは積雪に弱く、耐用年数までは持たないと聞いており、必要性を感じない。
この地域では気候の関係で効率が悪いと聞いていますので、大きな投資をするのは問題では。
スポーツ施設に隣接しなくても良いと思います。
この地域はよく曇りになりますし、長雨も多いような気がしますので(すみません。今津はまた違うのでしょうか?)不向きなのでは?とっていました。ですが、災害地に電力の確保ができることほど素晴らしいものはないと思います。
③ その他
それぞれに検討すべき課題が山積しています。 早急に決議する愚は避けていただきたいものです。
以前、私は太陽光発電の販売と設置をする会社で仕事をしておりました。その際、多く問い合わせがあったのが、モジュール等の寿命が来た後の廃棄の問題でした。設置は良いと思いますが、廃棄処分するときのことも視野に入れて考えていただきたいと思います。
太陽の光、熱エネルギーが発電の源であることから、日照時間が少なく、多雨、降雪を考慮した場合、本地域での活用はやや不安を伴う。発電機器の改良・善は、なされていると思うが心配要素の1つである。加えて2512枚を並べることで景観を損なうことが話題になると考えておかねばならない。反面、壮観な建築物所在場所として上手にPRすれば有名(所)となり、人を集める材料になる可能性もある。パネルは地面に敷設するのではなく地上数mの鉄骨上に置き、下部空間を作り、工夫して利用する着意が必要である。2案、3案として、風力発電、ごみ焼却によるエネルギーを利用し、少量ではあるが電力を生産し太陽光発電をサポートする。
特にありません。
よくわかりません
分区園
① 肯定的な意見
高齢社会にはうってつけかと思いました。
高齢者や障害者の福祉施策は良い案だと思いますが、なにぶん市街地から離れた交通不便地にありますので、単独行き帰りは難しく、何らかの送迎方法の検討が必要です。
これは良いかと思います。そして農機具は共同で利用できるなどのメリットがあれば、なお良いかと思います。
使用料の収入があるので、分区園(貸農園)に活用されることは良いと思う。
1. 交流の場には適していると考え。各自治会にある家庭菜園と違って各々の人が集まる場となる。 2. 90区画のうち、20区画程度は市の直轄の園場として農作物以外の草花栽培をして、完成品を販売する。 3. 特定の人に長期間貸し出すことは避ける。フリー区画にして、その都度利用できること。 4. 当初、都会の人の利用は望めない。市民の利用を重視して利用回数アップに努める。 5. 事前に農園使用の可否についてアンケートを採る。
都市と農村の交流を促進するとともに、観光の誘客としても、是非お願いしたいものです。
・市内各学校の専用「農業体験学習の場」提供 ・青少年健全育成の「農業就学体験」の場提供 一部区画を確保して、教育委員会管理とする。
滋賀県内の他の埋まっている所に対して希望者がいるなら作るべきだと思います。そうでないなら人が来ないかもしれないので、もったいない結果になるかもしれないと考えます。

良いと思います。地域の交流の場にもなりますし、個人的な考えですが、小中学生が学校から授業の一環としてこうした生産することに触れる機会を得られるのではないかなと思っています。(私が小中共にそういった授業を受けていたので。)
こういう分区分で人が集まったり、様々な人が活用できると思います。
実に良い利用方法ではないでしょうか。高齢化に伴い、また、社会風潮で農園は利用者も多くあるのではと思われます。
② 否定的な意見
これはムリ。新田(南深清水)へ行けばタダでいくらでも貸してくれます。高齢化で畑仕事が出来ないため、畑の守りをしてほしい方がたくさんおられると聞いています。
例えば、棚田を守るための貸農園をつくるなら目的もはっきりしていて分かりやすいですが、今津地域で果たしてそのニーズがあるのか疑問に思います。
獣害、雪問題等管理問題等があるので、活用に賛同できない。
単に農地だけでなく付加価値(クラインガルテン)をつけて収益の上がるものにしなければ、あれだけ高く買った土地が勿体ないです。クラインガルテンならば、農業の指導など地域のお年寄りとの交流が生まれ、また高島ファンが増える可能性が大いにあります。でも、少し狭いかもしれませんが。
市民農園がどうしてこのような運動公園の隣なのか疑問。市が市民農園を提供する必要があるのなら新旭などの売れ残っている市有地でやればよい。その方が駅からも近く、京阪神からの利用客が見込める。
本施設の建設には反対します。 理由:将来性がない。
いらない
総区割り100以下、このような小規模な計画を行政が深入りすべきでない。また周辺の人々や土地提供者の賛同を得られないと思う。
全国各地の実態を見ると、借り手がなく遊休となっているところが多いと聞く。都会の方が時々来て遊びながらの農園と思っている人が多くいるのではないのでしょうか。だとしたら、周囲の農業関係者の方にとってはとても迷惑していると思う。隣接の運動公園とはミスマッチであり、景観を損ね違和感を与える。
賛成できない 条件が悪い・市場調査が公開されていない * 年間約75日は雪で閉ざされる場所。 * Jr駅から遠くアクセスの問題。 * 鹿、イノシシ、猿など獣害が心配 (柵などしても無人の時間が多く防ぐのは困難) * ロケーションが良くない * 高島市民の多くは自家菜園を確保している。 高島市民が対象なら利用者を見込むのは困難、高島市民は家庭菜園を持つには非常に恵まれた環境にあり、多くの市民は自分の畑を持っている、仮に無くても隣り近所で借用することは可能である。 市外の方が対象なら京都、大阪からわざわざ高島迄日帰りで来る人が居るだろうか、又民宿に泊まって迄利用する人が居るだろうか。 等のリサーチをしたうえでの計画だと思いますが市場調査結果を公表するべきだと思います。 調査が出来ていないのなら、まず最初に調査するべきです。 調査せず計画が先行すればサッカー場用地先行購入時の誤った政策が又繰り返します。
立地が悪いのとアクセスが悪いこと。獣害などが予想されることから無理なのではないかと思います。どうせ借りるなら旧高島町の農園を借りるほうが多いのではないかと思います。
スポーツ施設に隣接しなくても良いと思います。
③ その他
農地の中に市民農園があるというのは少々こっけいな感じもしますが、需要見込みについては調査されているのでしょうか。

それぞれに検討すべき課題が山積しています。 早急に決議する愚は避けていただきたいものです。 空家を利用した短期滞在型の農園(野菜づくり花づくり)(果樹園はだめなんですか)。宿泊施設より使う側として空家利用が望ましいと思います。 又、空家再生として地域に伝わる料理、例えば味噌、甘酒、煮魚、鮎ずし「発酵食づくり」 又、子供達を交えての地域に伝わる知恵とか、話し合う場 又都会の人達との交流も高島のすばらしいところのPRにもなると思います。 期待できる効果そのものだと思います。 特にありません。
駐車場
① 肯定的な意見
イベントがあると駐車場が少ないため、スキー場の駐車場よりピストンで送迎されるのを見ていると、この案は良いと思います。 駐車場は北側に少ないので必要だと思います。 本施設は、所要に適応した駐車場の建設に賛成します。 運動公園全体としては足りていると思うが、北側の各施設(テニス場、多目的グラウンド、ドームグラウンド、ゆめの、子供の遊具設備など)では利用人数が多いにもかかわらず、近くの駐車スペースが狭いので、広げる必要があると思う。 1. 満車緩和、解消のため必要である。 2. 大会、イベント開催時の参加者以外の駐車場にならないように(長期間放置駐車)、定期的にパトロールをして的確な取締りに努める。 3. 希望・・・駐車場の一部を遊園地にする。狙い:子ども、その家族の来園により、利用者の増加を図る。尚、駐車収容台数が現計画より減る分、遊園地面積は立体駐車場として台数を確保する。
② 否定的な意見
余っている駐車場がスタジアム駐車場があるので、そこを利用すればいいんじゃないかと思いました。 一時期の不足は問題と思うが、ほとんど利用されていることがないので不要ではないかと思う。 月1回ぐらいイベントをするなら必要かもしれないが、そこまでののでしょうか？ 一時的に運動公園の利用客が多くなった際の駐車場増設なら、整備しなくても更地のままで臨時駐車場として使えばいいのでないか。わざわざ舗装することはない。 スペースの拡大により利便性が増すので良いと思います。 いらない なにもこの地に駐車場増設はばかっている。 理解できない 年間わずか20日間満車だけで必要だろうか？スタジアムに大きな駐車場があります、離れていて少々不便であるが年間20日ぐらいは利用すればよいと思います。 一時的なイベントのために確保するのは最小限にとどめるべきで、効率のいい他の施設にスペースを回していただきたい。 必要でないと思います。 20日程度の満車になるぐらいでわざわざ大きな駐車場が必要でしょうか？ 特にありません。 新しい駐車場はどうだろうと思います。 無くてはならないものです。場所的にも良いと思います。
③ その他

自転車がブームになっていますので、自転車ツーリング向けにテントサイト、屋根付き駐輪場（簡単な整備等が出来るもの）なども整備されてはどうか？
この場合、イベントや各種スポーツ大会は、年間20日程度ですので、土地の余剰部分（端っこ部分）を活用されるのが良いかと思います。
それぞれに検討すべき課題が山積しています。 早急に決議する愚は避けていただきたいものです。
夏場にどこかのスキー部の子が、ローラーのついたスキーをはいてトレーニングを駐車場でした。舗装をされているところでしかできないこともあるのではないのでしょうか。駐車場兼〇〇といった使い方ができないのでしょうか。
よくわかりません
以前サンルーフでのイベントに行きましたが、妊娠中だったにもかかわらず遠くの駐車場しかなく大変でした。あそこは思いやり駐車場等がないようですので、ぜひ駐車場はイベント会場の近くにほしいです。
集客量拡大、イベント、催事の統一（市内各地で同じような催しが多数行われているように思われる。市統一化ができないか。）
多目的グラウンド
① 肯定的な意見
これを作るなら芝を張れ！といわないか心配しています。個人的には分区園よりはこっちのほうが良いでしょう！
唯一、まあこれは整備してもいいかなと思うプラン。ただあくまでもほとんど空き地に近いようなもので、ほとんど整備に金をかけていないものに限る。
総合運動公園の稼働率は高いと聞いております。新しく多目的グラウンドを作ることで、大きな大会等の誘致ができればと期待しております。
運動公園にマッチした施設であるとともに、投資額も少なく、維持管理経費も容易なことが、当面の整備としてベターである。
良いと思います
多目的広場だけの施設ではなく、防災面も含めた、いざ、災害時に対応できる施設としてお願いしたい。
防災の点から良いのではないかと思います。
そこまで利用者がいるのか、よくわかりませんが、スポーツに特化していくのでいいかと思います。
良いと思いますし、もしこのグラウンドが大きなイベント以外で生かされない場合が出てくるのであれば、グラウンド整備用品の白い粉などを引いて駐車場として使用してもよいのではないのでしょうか。
② 否定的な意見
さらなる多目的グラウンドが必要か疑問です。
今のままでいいと思います。
これから人口がどうなってくるのかわからないので、なんともいえないのですが、少子化が見込まれるので、作っても結局使われなくなると思います。
必要性を感じません。市内には他にもたくさんのグラウンドがありますが、その利用状況も明らかにされておりませんので判断が付きません。
多目的グラウンドをつくるなら、クラブハウスのような建物があると、日除けや急な雨の避難、緊急時の対応等に活用できるのではないのでしょうか。
グラウンド増設しても、市民が活用しないのでは、理解が得られないのでは。60～70代の高齢者の7割くらいの人に利用してもらうような施策で活用する方がよいと思う。

本施設の建設は、今しばらく保留したい。
理由:他に検討すべき施設等がないか考えるべきである。
例:特別養護老人施設、食事付きサービス付き高齢者住宅等

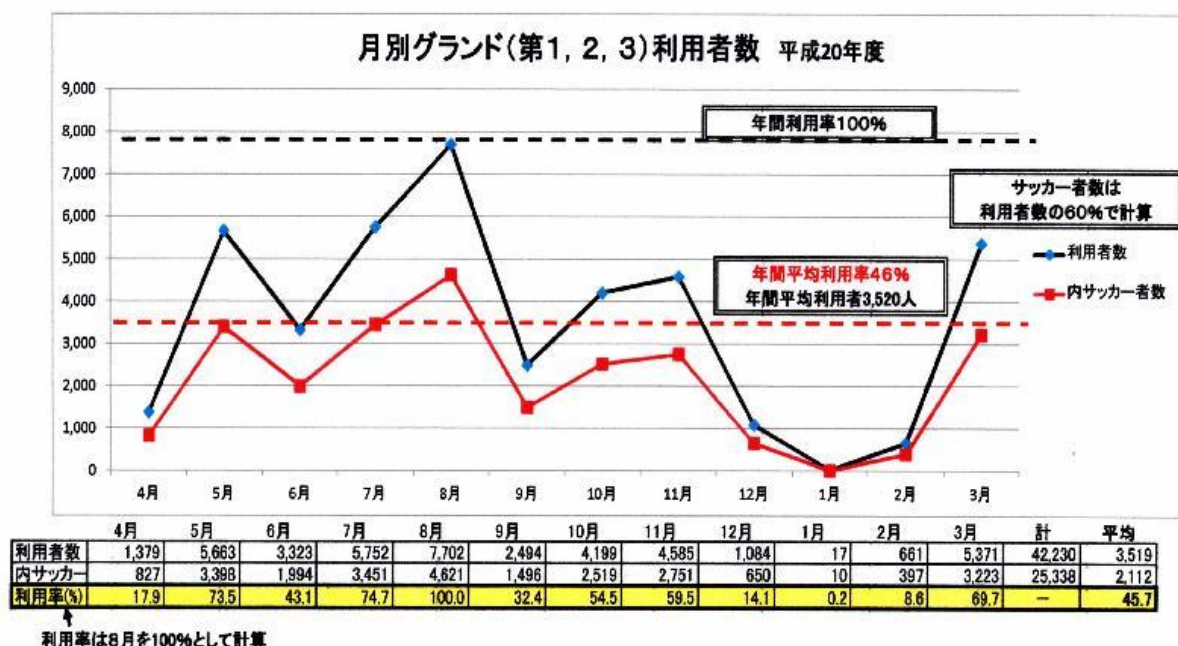
いない

既存のグラウンドでも利用者が少ないのに増設など必要なし。増設よりも既存の活用方法を検討すべき。野外音楽コンサートの開催やスポーツ競技会の誘致など各種イベント会場としての利用。屋外コンサートの開催やスポーツ競技会の誘致など各種イベント会場として利用を検討すべき。今津フェスティバルや萩本欽一球団とOBC野球の時など盛況の時があったんではありませんか。イベント内容により入場者や利用者は増えると思います。

A案賛成であり増設は必要なし
利用者横ばい状態;H29年度に現3万人の2倍、62000人の利用を予測しているが、増員する根拠は見当たらない。増員の可能性は薄い。

これはあまり賛成できません。年間65日の利用がある程度なのであるなら、既存の施設で十分だと考えています。

理解できない
第1,2,3グラウンドの年間利用者は平成20年がピークで42,230人と聞いています。平成24年はその時より9,657人減少の32,573人、将来の増加も見込めない。
僅か65日のフル稼働日(この数字が正しいとして)のなぜ今グラウンド建設なのか、これではサッカー場凍結を掲げ当選した市長の公約違反ではないのか。
フル稼働日は8月、3月の限られた期間です、それ以外の利用率は半分以下の46%とデータもあります。
平成20年度の月別グラウンド(第1,2,3)の利用者数のグラフを添付します。
(下記)
8月の利用者をピークとすれば8月以外は46%の利用状態です。
この資料は市役所に2013年10月情報公開請求して得た資料より作成したものです。
今津総合運動公園指定管理者の努力が足りません。
今や施設のホームページは利用者に紹介する大切な道具です。例えば、少年サッカーチームのコーチたちの会合は夜間にあり、練習場を探す時まずホームページを見てコートを探します、しかし今津運動公園のホームページではコートの中情報がわかりません、翌日電話で確認、再度会合を開き決定することになります。
この状態では他所に行きます、守山のビッグレイクなどでは進んだシステムを取り入れています。
早急にホームページのシステムをホテル業界が行っているように、ページ上で確認でき、申し込みまで出来るように変更すべきと思います。
私の意見:以上理由により多目的グラウンド建設には反対します。



③ その他
自転車がブームになっていますので、自転車ツーリング向けにテントサイト、屋根付き駐輪場（簡単な整備等が出来るもの）なども整備されてはどうでしょうか？
高島市には多くのスポーツ大会を開催するイベントグラウンドが多くあり、交通不便な今津のこの地には不向きかと思われます。ただし設定するのなら、これも「グラウンドのすみっこ」を使用して、設定グラウンドをイベントの不足部分として活用するならよいと思います。
それぞれに検討すべき課題が山積しています。 早急に決議する愚は避けていただきたいものです。
よくわかりません
特にありません。
防災広場
① 肯定的な意見
駐車場、農園を発災直後、中長期を考え、被災対応の広場に転用することに賛成する。
② 否定的な意見
提案では防災対策として避難者の収容、物資の保管場所としての利用とありますが、現状の施設、用地では不足しているのでしょうか？ この高島で1番の心配は福井県の原因事故からの避難です。 今回の用地は原因事故の際いち早く退避する所です、そこに避難のためのスペースを準備するには理解できません。

Q3 その他にお気づきのことがございましたらご意見をお聞かせください。

その他の意見
すべて太陽光発電もしくはその他の発電所だけという選択肢がないのはなぜかと思いました。宿泊施設は法律にひっかからないのかなと思いました。引っかからないなら立ててもいいんじゃないかと思いました。アパートなど。 放置は反対です。利用できる土地は利用すべきだと思います。置いているだけでお金が取られるなら、何らかの利益を生むべきじゃないかと思いました。
モニター会の時間が短すぎる！ 9:30～11:30終了ですよね。せめて12時まであと1時間しゃべらせろ！って感じかな。この前もまだまだ手を上げていた方もおられたし、せっかく時間を作って出てきてるのに惜しい気になりますけど・・・
本日説明された案のほかに、高島市が名所旧跡を活かした町としての発展を考えられるなら、例えば高島商人館や博物館、資料館などの建設も考えられます。また、防災避難地の場所としての建物を造ることも必要かと思われます。 要するに、分区園を活かすならば、京阪神からこられる人々に高島市の名所旧跡を見ていただき（観光してもらい）その上で農園を借用してもらって活用いただくのがベストだと思います。その際、簡単なプレハブ施設（10戸～20戸）を作って、京阪神の人々が泊まっていただく場所も確保すべきです。 最後になりますが、滋賀県は、立命館大、龍谷大、大谷大学など最近大学生が増加してきましたので、大学生を対象にした施設（設置）も考えるべきです。これで成功しておられる業者も高島市には存在します。（例）テニス場、バスケット場と宿泊施設の併用。 A案に賛成します。

オープンな市政にするために

市には様々な委員会や健康推進員や環境委員、文化協会、民生委員等々、市行政と関わりのある方が多くおられるはずです。その方々にも、私たち市政モニターと一緒に市が直面している問題を知って貰ってはいかがでしょうか。

この市政モニターは毎回、丁寧な説明をして下さるので、高島市が直面している問題を良く理解することができます。この説明を、たった50人だけが聞くのでは勿体ない。市民として意識的に市に関わっておられる沢山の方に聞いて貰ったとしても、誤解が広がって大変なことになるような心配はないと思われます。アンケートはモニターが出しますけれど。

少しでも多くの市民に自分の市の問題を知っておいてもらう必要があります。今後、行政だけでなく市民を巻き込んで取り組んでいくべき問題が出てくる事も予想されます。このモニター制度を活用しながら、市政をオープンにするよい機会ではないかと思うのですが、如何でしょうか。

近頃の旅行やレジャーは安近短であり、高島市は京阪神からの利用にピッタリである。電車と言えば高い特急に乗らずとも新快速1本で行けるし、車にしても湖西道路は無料で走れる。安近短で行先を決めるレジャー客は高島市内に落とす一人当たりの単価は少ないがゼロではない。弁当などの食事代や簡単なお土産代などは落としてくれる。なので、これらの安近短で行先を決める客を誘致するために土地を活用すればよいと考える。客単価が低いのであまり金をかけず、回収率が低くても採算の合う施設である。私なら景観物を提案する。ヒマワリの迷路など市民参加で簡単に作られるヤツである。安曇川のユニバーサルこども園ができる前の広大な空き地一面にコスモスが咲き乱れていたのも結構ネット上では観光資源として扱われていた。今は高島で花一面と言えば箱館山がダントツ有名だが、あれ程たいそうでなくとも、空き地一面の花畑を市内あちこちに作れば、そこそこ客は集まると考えている。また、1か所でなく点在させるのもポイントである。スタンプラリーやツアーも組めるし、花の種類を変えて咲く時期をずらせばリピーター確保もできる。1か所の土地で花の種類を変えようとするとうとうしても花のない区画が生じてしまい、壮大さに欠けるのである。日本海側気候は春咲き球根の栽培には最適だそうである。(だから富山や新潟でチューリップ栽培が盛ん)高島でもチューリップや水仙は放ったらかしで毎年咲く。売れ残っている市有地に球根を植えておくだけでも観光財産になると思うのだが。個人的には一面真っ青のムスカリ畑を見て見たいものだ。

高島市民として生まれて、中江藤樹先生について過去に聞かされたことがありましたが、あまりよくこたえられませんでした。

もし市内の小中学校が、中江藤樹先生についてよく知らなければ、小学校等で教える機会を設けて戴ければさらに郷土愛が育成されると信じます。

①昨年より放射性チップが不法投棄でそばの鴨川の近くにもいけず、目に見えないものでおびえるような生活を強いられている。近江白浜周辺の住民のこと、県や市はどう思っているのやら、どうチップをどこへ運送しているやらヘリコプターはよく飛んで新聞だけ、TVだけの情報で私は満足できない。不安な日々を送っている。

②個別意見で道路を取り上げてもらいましたが、し尿の垂れ流しがあるので大至急下水道工事をお願いしたい。(宅より湖まで130mです。)琵琶湖の汚染が心配。

放射能汚染チップの問題について。

どうして一度出た業者の車が福島まで行って、また元のところへ戻ってくるのか？

私たちのすぐ近くの話であり、どう考えても理解できない行為に一体誰が責任を取ってくれるのか？

これはただ単なる問題ではないはずなのに、公的には何も公表されていないことに、とても疑問を感じます。

私は、今津市有地の問題よりもこっちのことに對して解決していくことがまず重要であると思います。

前回のアンケート結果について

庁舎が3か所に分かれている現状に不具合を感じるかどうか。

28人(76%) ない

8人(21%) ある

この結果はまったくもって何の意味ももたない。そもそも、アンケートの問いに問題がある。全庁方式は、市民、職員、ランニングコストのすべてを考慮して結果を出すもので、愚問としか言いようがない。(現に台風18号の際、非常に不具合を感じたのは職員さんそのものではないですか。防災課とライフラインを担う土木、上下水道課が離れていることに疑問を感じます。)

※ 市が示した市本庁舎、支所整備方針(P1)にも本庁機能が分散していることで、合議、決裁、また災害時などに相当な時間を要し、不効率になっていると明記されている。

支所について・・・今までにある町別ではなく、2分化にするとか？コンパクトに統一してはどうか。支所機能は細かく必要ないと思うので。

市役所本庁舎についての中間報告書

合併協定書には、高島市となった際の庁舎位置は、今津町大字今津字南沼448番20及び同40とする が定められている。本庁舎中間報告書では、新旭庁舎を増改築して統合庁舎とする結果が出されている。

新庁舎の建設と新旭庁舎を増改築しての統合庁舎にする場合、面積、利便性、耐震度(性)、経費、関係機関との連携面、数十年後の建て替え、市民の声・アンケート等を比較しての結果なのか、少し疑問の点が出てくる。

広大な(36000㎡)今津本庁予定地は十数年間放置状態である。今後も、この状態が続くのか？何かに転用して市民に役立てるのか？現時点ではハッキリした答が出ていない。早急に市民に問い正解を出して公表すべきである。

市役所プロジェクトチームのメンバーが熟慮して考えた案と思いますが、太陽光発電施設の設置以外は賛成できません。

「建設ありき」の考えが基本にあるように思えます、除草に年間100万円掛かると聞いています、半分を太陽光発電施設の設置をすれば草刈りは残り半分の50万円で済みそうです。太陽光発電施設以外の用地は今しばらく現状のままで置き、この先ゆっくり利用を考えるのも1つの案と思います。

別の用地活用案を提案します

「オランダ式温室水耕栽培方法」 で 🔍 検索

オランダは北海道の北部の緯度にあり、国土が日本の10分の1しかありませんが、このオランダ式温室水耕栽培方法の導入によって近年、農業が発展し、輸出金額は世界第2位の農業大国になっています。

このノウハウを導入し、農業振興の目的で市役所、農協、民間の出資で実験的な施設を建設する。

このシステムは今、世界中で注目され日本でも大手企業が本格的に取り組んでいます。用地確保に恵まれた高島で事業展開を進め、雇用を創出し、高島の特産品を作り出す取り組みを提案します。

市有地は他にもあるのでしょうか？

役所の中の人で物事を決めるのではなく、市民全体で活用方法を考えてみてはいかがでしょうか？

高齢化、少子化など課題がクリアーに出来る市有地活用も考えてください。

市内の融雪装置について

旧高島町の駅前交差点を挟む道路では、市道と県道に別れていて、管轄違いで、融雪装置ができていません。

生活している住民はどちらの道路であれ、同じ地域の同じ生活環境でのこの違いの差別は納得いくものではありません。

まして、積雪時、融雪装置があるところから、急になくなった道路に入ることにより、凍結による事故も過去には起きているのも事実です。

幸い死亡事故に繋がってはいませんが、起こってからでは取り返しがつきません。

どうしても予算的に無理な場合は、ここからは融雪装置がないとの看板を明示するぐらいは必要と考えます。いかがでしょうか？

子育て中に気づいたことですが、市内には屋外で子供が遊べる場所はたくさんありますが、屋内でのびのび遊べるところがほとんどありません。この地域は天気が悪いことも多いので、土日に屋内で遊べる場所があればなあと他のお母さん方いつも話しています。福井の子供家族館のような所が市内に小さくともあるととても嬉しいのですが・・・

高島の素晴らしいところは何といっても四季折々のアウトドアスポーツが身近に体験できることです。春と秋は比良登山やロッククライミング、夏はハツ淵の滝でのシャワークライミング、そして冬はスキーやスノーシューです。これらをまとめて主催する会社が高島駅から歩いてのところ(びれっじ内)にあり大変便利です。これらの施設を活用したアウトドアスポーツが気軽に楽しめる高島市をもっと積極的にPRされると良いと思います。

・街灯を増やしてほしい(武蔵・横山等) ・除雪車の増台 ・バス・電車の本数を増やしてほしい
ほかの地域よりもお金を使いすぎだと思います。
現在の施設で梅の子運動公園なのですが、県の大会を呼び込むことを謳い文句で作られたの でしたか。あまり利用されていないように思います。 このことを考えると、これ以上増やすことには反対です。